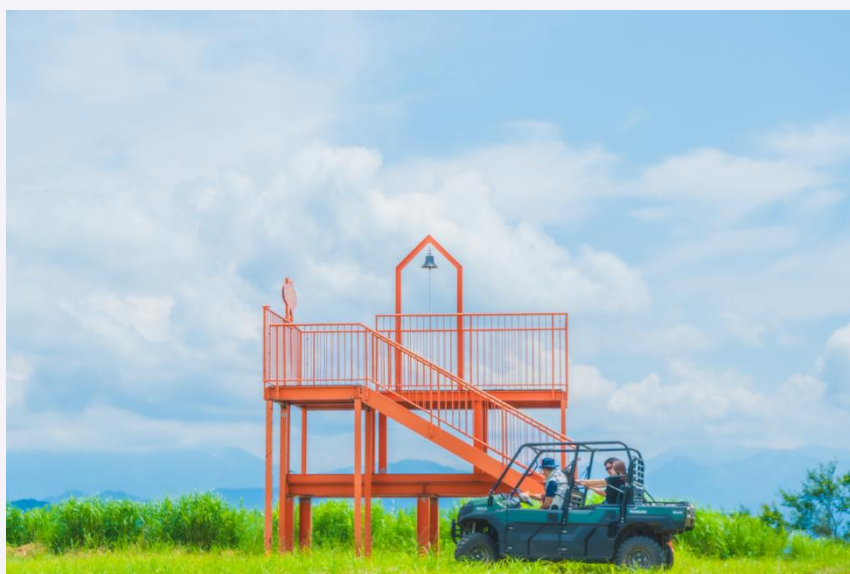


第26期 安全報告書

(2024年10月～2025年9月)



利用者の皆さまへ

日頃より「GALA湯沢」をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

当社は「お客さまに安心して楽しんでいただけるオールシーズンリゾート企業を目指し、企業理念の中でも『徹底した安全』『お客さま満足度の高いサービス』に絶えず挑戦すること」を掲げ、法令の遵守と安全輸送に努めております。

本報告書は、「鉄道事業法第19条の4」等に基づき、索道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について広くご理解いただくために公表するものです。皆さまのご意見、ご感想をお寄せいただき、輸送の安全に反映していきたいと考えております。

今後とも、GALA湯沢へのご来場、ご愛顧をお願い申し上げます。

代表取締役社長

鍋澤 良次

1. 基本方針と安全目標

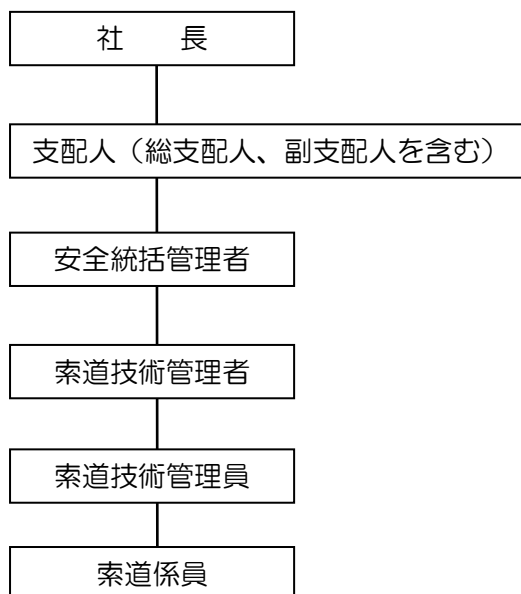
基本方針

- (1) 社長及び支配人（総支配人、副支配人を含む。）は、索道施設及び社員等を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を具体的に定め、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めます。
- (2) 社長、支配人及び社員等は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し輸送の安全確保に努めます。
 - ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
 - ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む）をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
 - ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
 - ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めます。
 - ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置を行います。
 - ⑥ 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えます。
 - ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めます。
- (3) 第1項の方針に基づき、策定した索道施設及び社員等に係る安全性向上のための施策は適時見直すものとし、当該施策及びこれに基づく取り組みの実績、その他安全に関する情報については、毎事業年度これを取りまとめ、安全報告書として公表します。

安全目標

- (1) お客さまと社員・スタッフの死傷事故「ゼロ」に向けた安全の追求
- (2) 既設設備改良や新技術導入による作業軽減と点検の効率化、
不具合箇所の早期把握と速やかな対応
- (3) 新たな機器等を活用した効率的な除排雪の検討
- (4) 必要箇所へのスノーマット増設による安全担保及びオープン期間の確保
- (5) カメラ・センサー、AIなどの新技術を活用した危険検知レベルの向上と安全を確保するための営業中止判断の早期化
- (6) デジタルサイネージ等を活用したお客さま案内の効率化
- (7) 新規技術、他分野からのヒントを得るためのセミナー・研修会参加などによる安全の質の追求
- (8) 東日本旅客鉄道(株)と連携した計画的、着実な老朽取替の推進
- (9) 異常時対応マニュアル・案内マニュアルのリニューアルと多言語化

2. 安全管理体制



	責 務
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負うものとする。
支 配 人 (総支配人、副支配人を含む)	輸送の安全の確保に関する責任を負うものとする。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の運行の管理、索道施設の保守の管理、その他の技術上及び係員教育等の事項に関する業務を管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、担当する索道の運行の管理、施設の保守の管理、その他の技術上の事項に関する業務を管理する。

3. 安全に関する取組み

(1) 教育訓練

- ・安全教育 ・ミニブルドーザー、スノーモービル運転取扱講習
- ・機械装置及び運転取扱訓練
- ・教育用動画の制作・放映



滑車からチェーンに動力が伝わり
その先のギアボックスに繋がる

(2) 緊急時対応訓練

- ・救助訓練と予備原動機訓練（冬季・夏季）
- ・各索道停止時のお客さま誘導訓練

(3) 研修会等への参加

- ・北陸信越山岳観光索道協会 新潟地区部会の索道技術研修会（2025年7月1日開催）に出席して、索道運転事故等の事例にもとづく対応策の共有、保安監査の実施結果の確認、索道施設の変更許可申請（届出）等について確認しました。また、索道係員の事故防止、索道の運転事故防止、ヒューマンファクターへの着目等について受講しました。受講した内容にもとづき再度社内設備の点検、教育資料等の充実に努めております。
- ・救命講習会を南魚沼市湯沢消防署さまのご指導により、AEDの取り扱い方法等の実施訓練を行いました。
- ・索道メーカーの講習会にも積極的に参加し、索道施設の基礎から技術面に至るまで索道技術者の技術向上に努めております。JR東日本グループで行われているJES-Netに加盟し、鉄道の安全に係る過去の事例等を他山の石として学び、安全レベル向上に努めております。

(4) 安全のための投資と修繕

（投資）通信ケーブル取替、握索機取替、非常放送設備取替等

（修繕）減速機、電動機など主要駆動部、握索機及び支柱索受整備、風速計整備等

(5) 施設の点検・整備

営業開始前には法令で定められている1 2月点検並びに営業時の1 月点検を確実に行之、ベテラン社員から若手社員への技術継承を行っております。消耗品の交換や潤滑油の給油作業、予備原動機の試運転や、緊張機によるワイヤー調整、握索機の調整、ワイヤーのセンター調整等多岐にわたる作業がありますが、一つ一つの作業がお客さまの安全につながることを常に意識して、日々作業を進めております。悪天候時の運転では、より監視・誘導を強化できるよう索道スタッフ全員が心がけております。

(6) その他の取組み

教育教材につきましては、経験のないスタッフや外国人のお客さまにも対応できるように外国人スタッフの雇用を行い、わかりやすい教材として動画による教育資料を制作して取り組んでおります。雇用開始時に動画の視聴を行い、さらに何かあった時にも閲覧・確認ができる工夫を行っております。

海外からのお客さまの増加に伴う案内強化のため、多言語表示の案内看板や、多言語による自動放送装置の設置を行っており、引き続き強化改良を進めてまいります。

今後も、異常時（強風時・機器故障の復旧等）を想定したより具体的な訓練を行い、トラブル発生時に備えてまいります。

また、悪天候時、特に強風による営業は危険を伴いますので、営業休止判断に生かせるよう、最新技術の導入や落雷対策の検討を進め、より安全で安心した施設運営に努めております。

4. 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

令和7年2月上旬、ソーシャル乗車のお客さまが、お客さま同士のスノーボード・スキー板が絡み合った状態で乗車。乗客係員はその状態に気づかず、そのまま山麓乗り場を出発し、不安定な状態のまま両脇のお客さまに抱えられながら5号柱手前で落下し負傷するという事故が発生いたしました。

再発防止対策として、乗客係員は常に乗車状況の確認を徹底すること、乗車中の注意事項の標示や案内の充実、セフティーバーを上げないことや乗車中は搬器に深く腰掛けるなどの注意喚起の再徹底を行いました。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

冬季：12月13日には順調に降雪もあり予定通り営業を開始、GW5月6日までのゲレンデ営業を行うことができました。しかしながら、2月には大量降雪により開業後初めてゲレンデ整備等が間に合わなくなる事態となり、安全確保のため計画的営業休止を2月21日に1日行いました。

夏季：台風等による営業休止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候） 国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

2025年8月鉄道事業法第56条第1項の規程にもとづき、国土交通省（北陸信越運輸局）保安監査を受検しましたが、特に指示・指摘・行政指導等はありませんでした。

5. 利用者の皆さまへのお願い

スキー&スノーボードは自然を相手にしたスポーツです。安全のため、索道事業運送約款、スキー場利用約款等を守り自己責任において滑走をお楽しみください。また、冬季・夏季に関わらずリフト乗降時は係員の指示に従い、以下の注意事項を遵守して安全にお乗りいただくようご協力をお願いいたします。

(1) リフト、ゴンドラ乗車時の注意事項

- ・リフト乗降時は、ウェアの紐やバック等が挟まれないよう注意して下さい。
- ・リフト乗車中は落下防止のため、イスに深く座り、セフティーバーを使用してください。
- ・リフト乗車中に大変落し物が増えています。乗車中には携帯電話などは使用しないようにしてください。
- ・空き缶やゴミその他の物品等をリフトから投げないで下さい。また、乗車中は禁煙です。
- ・乗り方に慣れないお客さまは、係員に申し出て下さい。

(2) 冬季ゲレンデでの注意事項

- ・コース外は滑走禁止です。管理区域内でもコースに指定されていない所には出ないで下さい。
- ・コース中央などゲレンデ内での座り込みはご遠慮ください。
- ・スノーボーダーの方は、流れ止めを確実に取付け、ハイバックを折りたたみご乗車下さい。
- ・個人の能力、天候、コースの状況などを考え、それに合った滑り方とスピードで滑走してください。

6. 安全報告書に関する問い合わせ先

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢字茅平1039-2

株式会社 ガーラ湯沢 TEL 025-785-6421 FAX 025-785-6424 URL <https://gala.co.jp>